

## **第 3 部**

### **男女共同参画に関する市民団体等意識調査**

# 男女共同参画に関する市民団体等意識調査（調査結果概要）

## 1 調査目的

男女共同参画に関する市民団体等の意識などを把握し、「第4次たかまつ男女共同参画プラン(仮称)」策定の基礎データとするとともに、今後の男女共同参画施策推進の参考資料とする。

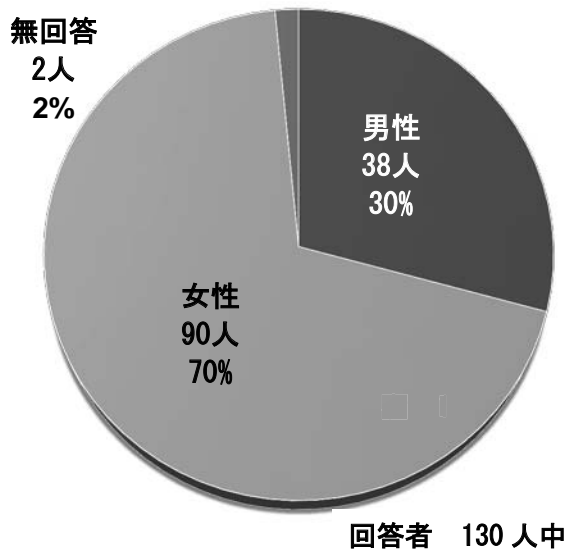
## 2 調査設計

- (1) 調査期間 平成26年8月29日～9月12日
- (2) 調査対象 市内市民団体等 225団体
- (3) 調査方法 郵送によるアンケート方式

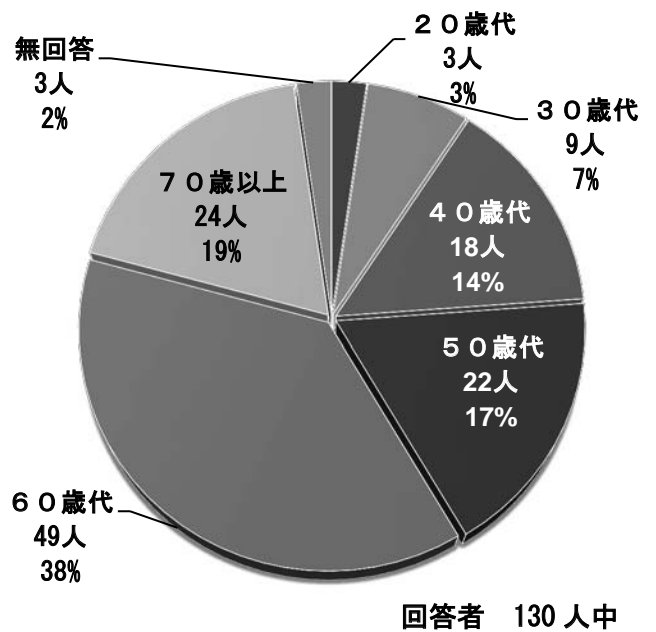
## 3 回収結果

回収数 130団体

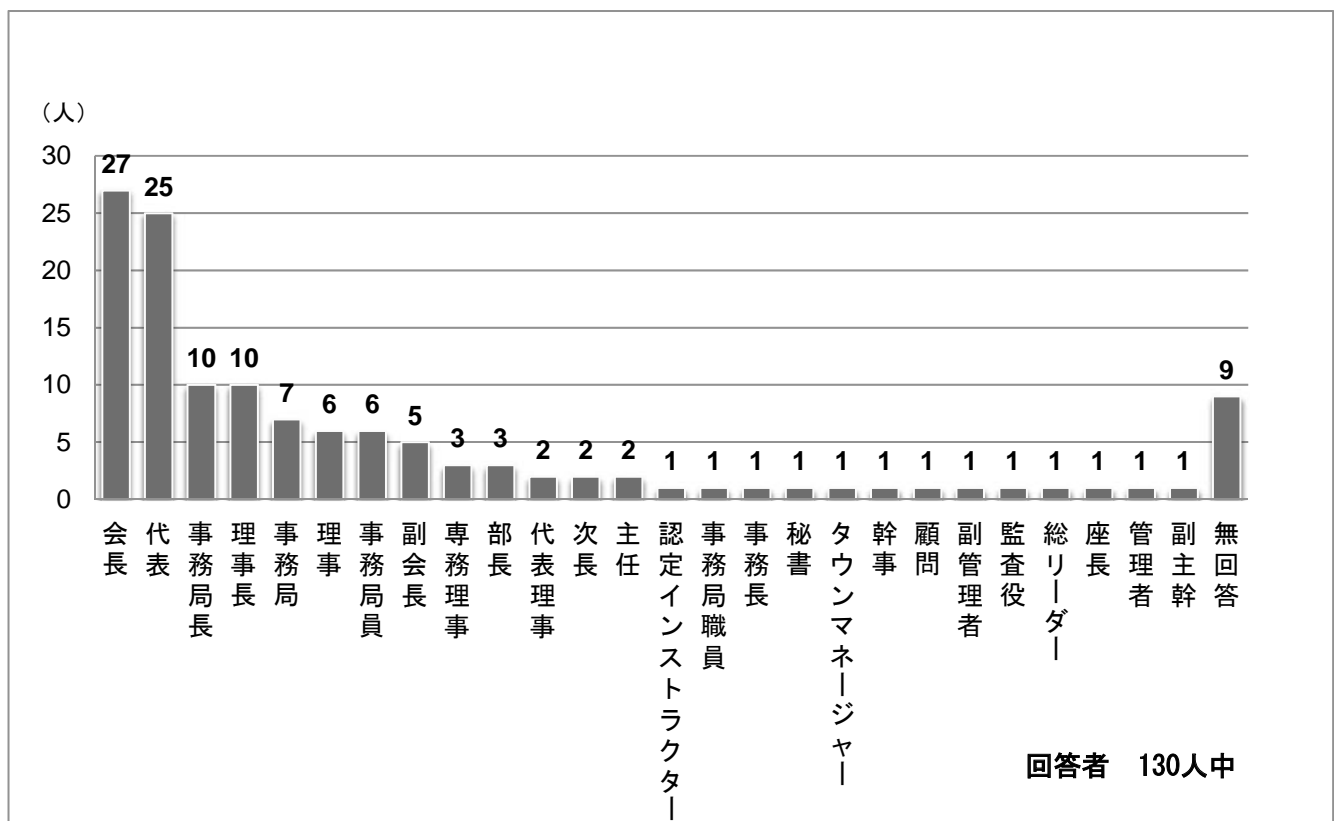
【回答者の男女の比率】



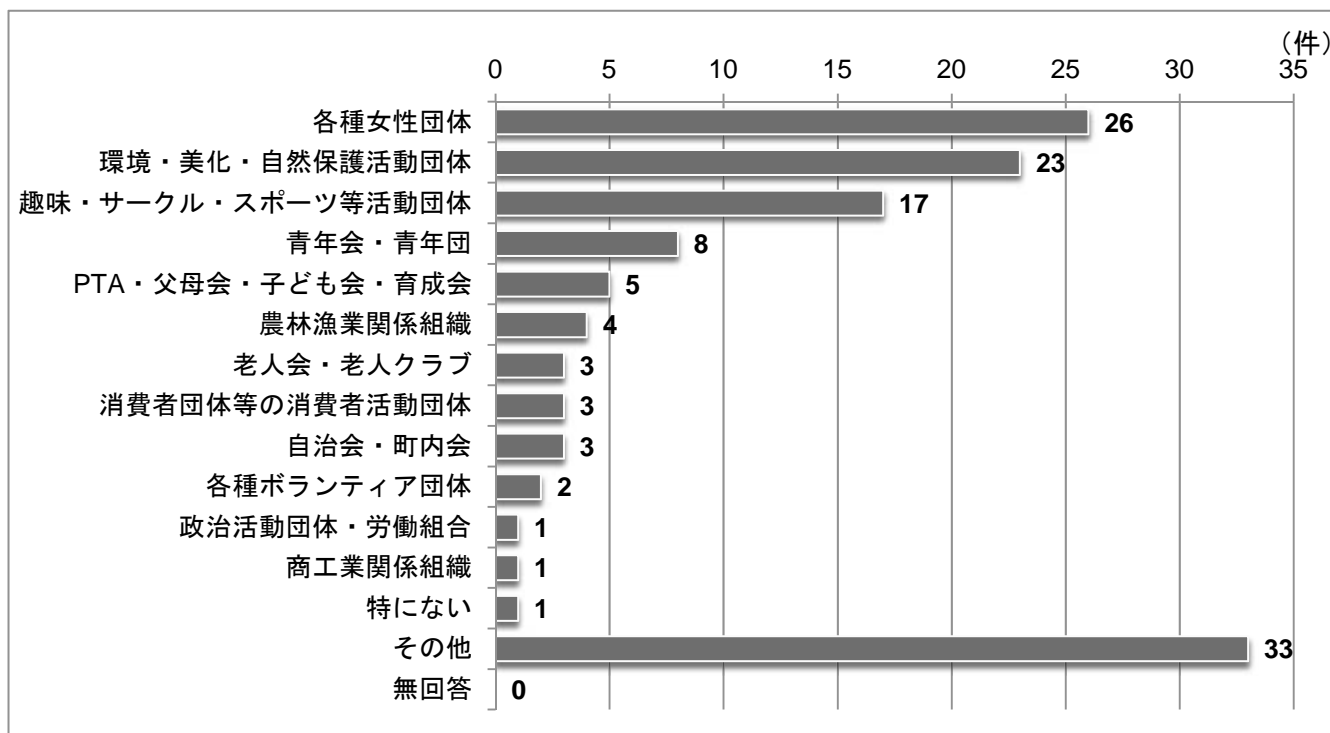
【回答者の年齢別割合】



【回答者の役職】



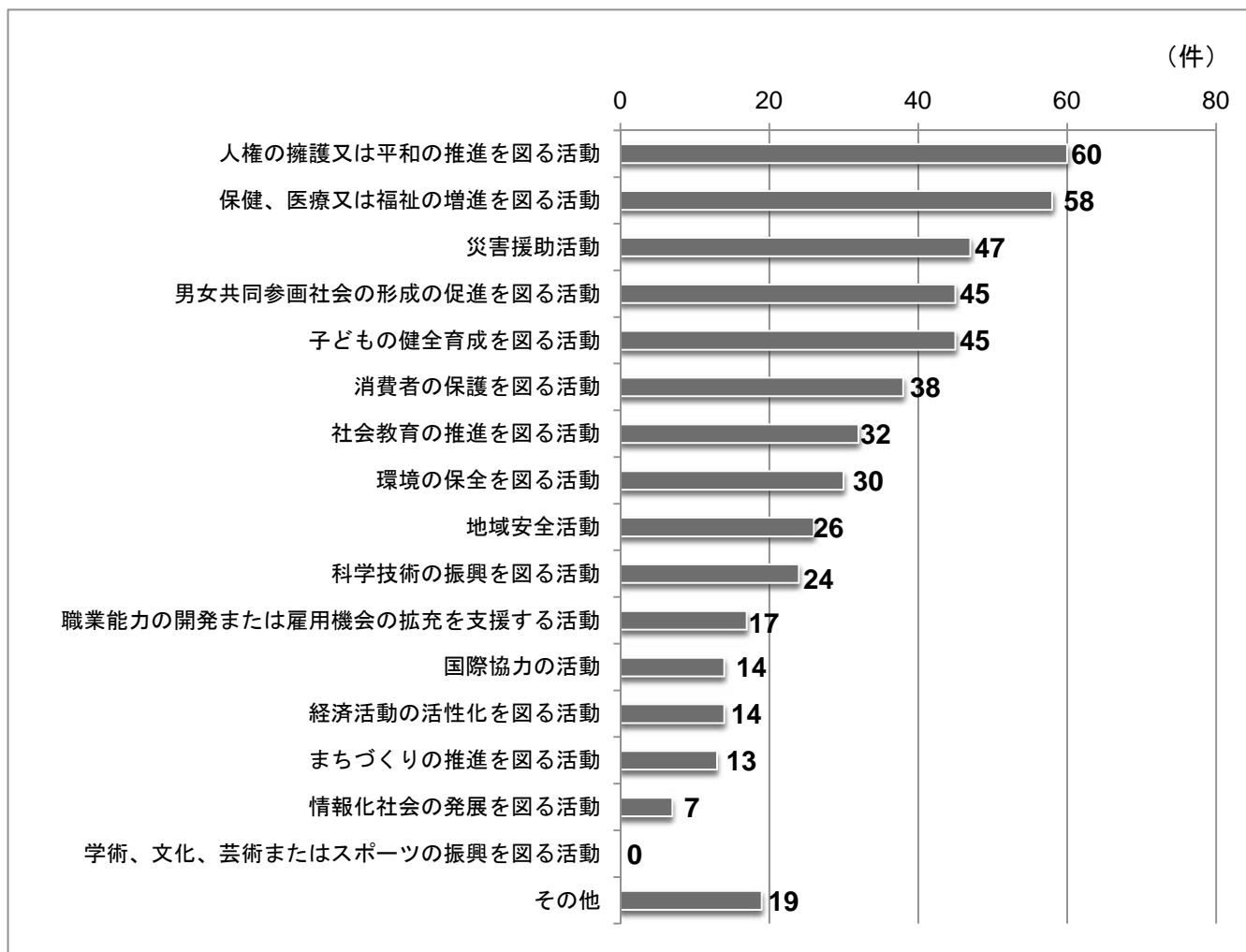
問1 貴団体は、次のどれに当てはまりますか。当てはまるものを1つ選んでください。



### ○その他

- 1 歯科医療関係団体
- 2 日本ボーイスカウト香川連盟 東地区協議会
- 3 NPO 法人
- 4 障害者福祉団体
- 5 ハンセン病問題について啓発団体
- 6 NPO 市民活動団体
- 7 コミュニティ協議会連合会
- 8 専門職の勉強会
- 9 障害者福祉業活動
- 10 労働者福祉事業団体
- 11 障害福祉サービス事業所
- 12 公益財団法人
- 13 中小企業団体支援団体
- 14 中間支援団体
- 15 消防団
- 16 保健医療・福祉関係
- 17 団体芸術・文化等調査・研究団体
- 18 自分を見つめる話し合いの会
- 19 家族会
- 20 ひとり親家庭の方の自立支援

問2 貴団体の主な活動目的を選んでください。（特に当てはまるものを5つ選んでください。）



### ○その他

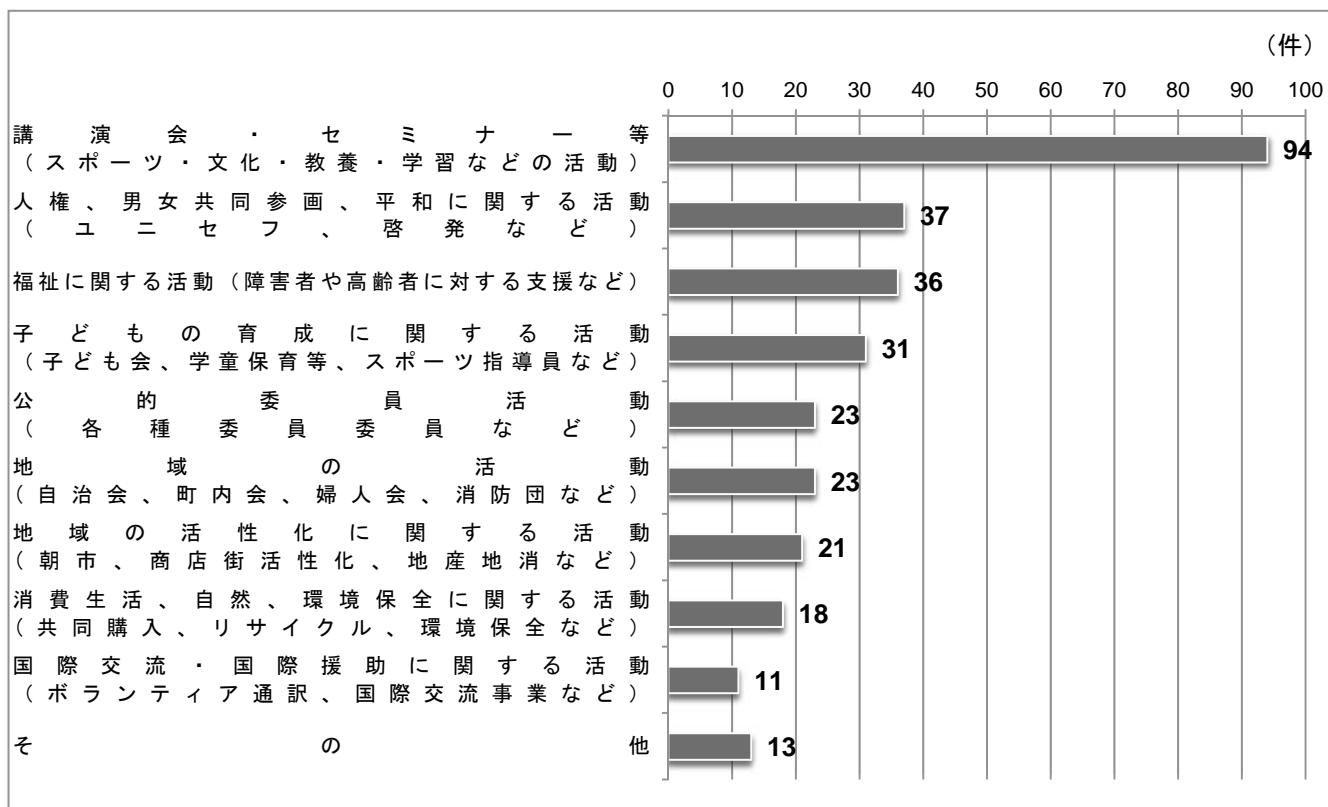
- 1 体力の維持
- 2 公衆衛生の向上を図る活動
- 3 転勤者とさぬき人との交流
- 4 農業・農村の振興
- 5 AIDO 活動の増進
- 6 ガイド（外人相手）
- 7 高齢化問題について
- 8 ろう者の抱える問題を共に考える
- 9 家庭から社会へ
- 10 農業に関する活動
- 11 訪問介護員の資質向上、事業所間・行政との情報交換

### 【全体】

団体の主な活動目的のうち、回答が多かったのは、人権の擁護又は平和の推進を図る活動（60件）、保健、医療又は福祉の増進を図る活動（58件）であり、次いで災害援助活動（47件）となっている。



問5 貴団体は過去5年間で、どのような活動をしましたか。特に当てはまるものを3つまでを選んでください。



○その他

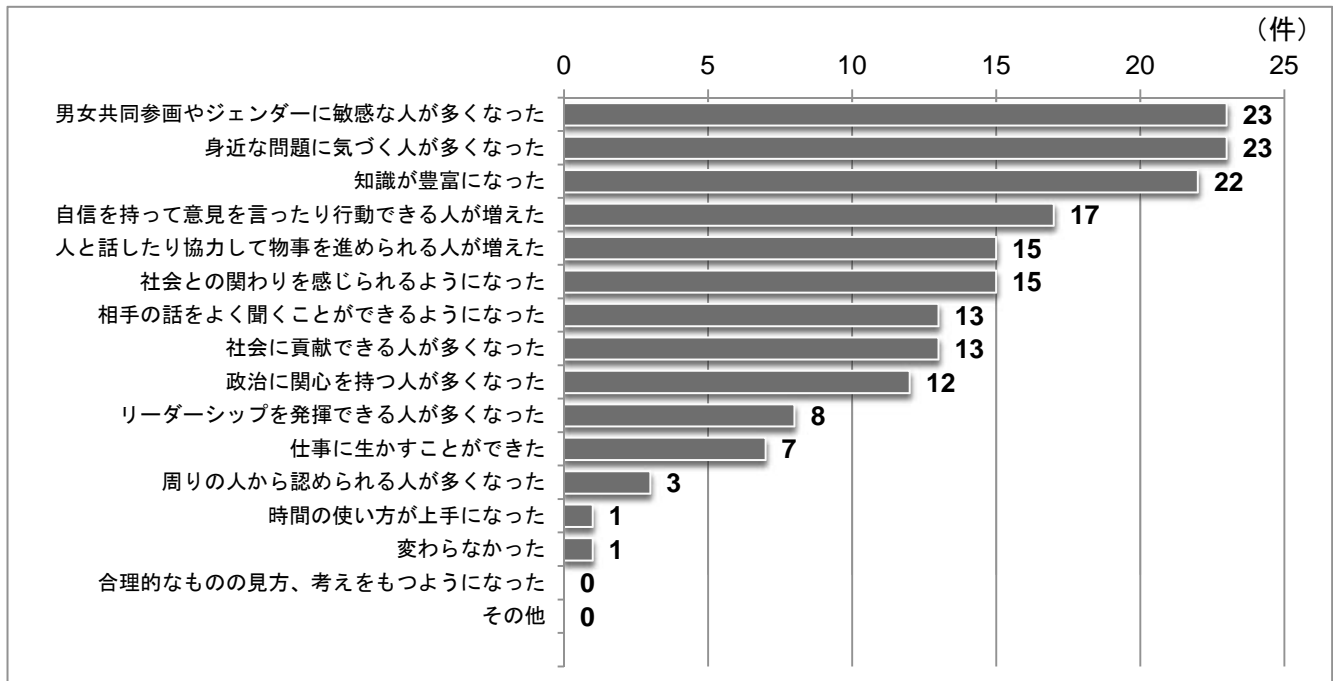
- 1 毎月第三日曜日に集まり皆様の日々の生活などを話し合っています
- 2 精神的健康増進に関する活動
- 3 東京から講師(大学教授)を読んでリーダーシップについて学ぶ
- 4 男女共同参画週間啓発街頭キャンペーンに協力

【全体】

団体の過去5年間の活動のうち、最も回答が多かった、講演会・セミナー等(スポーツ・文化・教養・学習などの活動)で94件と最も多い。

**問 6** 問 5 で「人権、男女共同参画、平和に関する活動（ユニセフ、啓発など）」と答えた団体にお聞きします。

上記の活動をした結果、参加者や地域はどう変わりましたか？特に当てはまるものを5つまで選んでください。また、どのような活動をしましたか。下欄に具体的に記入してください。



**【全体】**

この活動によって、男女共同参画やジェンダーに敏感な人が多くなった（23件）、身近な問題に気づく人が多くなった（23件）という回答が最も多い。

**【参加者や地域に特に影響を与えたとされる活動内容】**

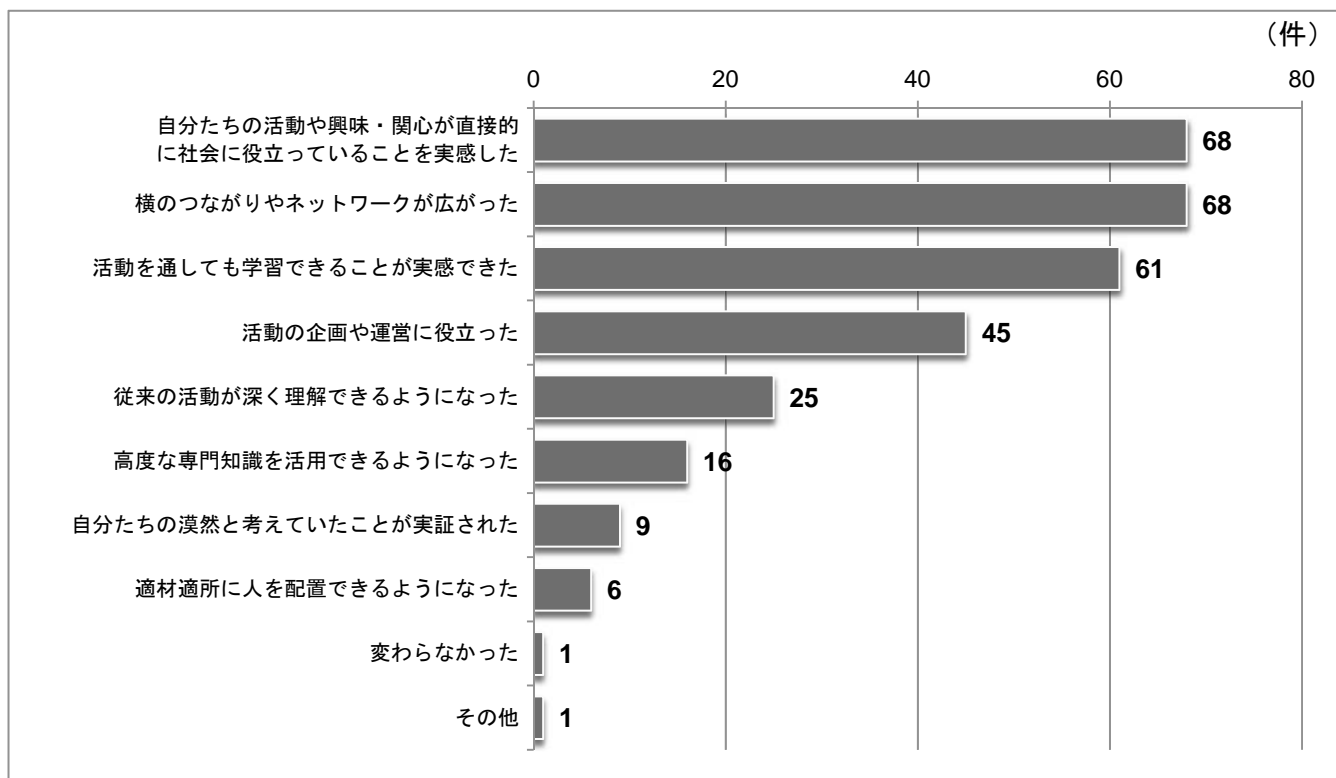
- 1 知識普及・意識啓発を目的とした講演会やボランティア養成講座、対面型の相談活動
- 2 講演会及び学習会、広島・長崎に千羽鶴を送る活動、平和のためのチラシ配布
- 3 地域のコミュニティ活動に参加するようになった
- 4 各私学が活動を行っているため連合会としては、実態を把握していない
- 5 ヤングスピーチコンテスト：若い世代に職業意識の啓発 映画上映会：環境や平和に対する意識啓発
- 6 「香川の子供の精神保健福祉を語ろう会」に実行委員としてあるいは発言者として参加…当事者 ・障害者虐待防止法についての学習会…職員 ・海外の先進的な当事者活動の視察報告会、学習会…参加者（関係者に案内）
- 7 大島青松園でイベントを実施、参加者（中学生）が案内役を引き受けてくれるようになった
- 8 講演会・セミナーに積極的に参加する人が増えた。地域の活動から協力してほしいと言われる。地域の核となっている。
- 9 対人関係における自分の考え方や思いのふり返りの分析・勉強会
- 10 平和に関する署名活動などで自ら署名内容などを訴え、相手に説明できるようになった。自ら行動内容をしっかり把握する能力を備えることが出来た。
- 11 男女共同参画社会に関する研修会を繰り返すことで、参加した者たちの周囲から少しずつ身近な問題に気づく人が多くなりました
- 12 講演会・学習会・報告会…労働・平和・外国の事例・介護等



平和…毎月駅頭チラシ配布・広島、長崎へ千羽鶴送付・広瀬多加代さんの公演を見る

- 13 防災活動・見守り隊・コミュニティにおける諸行事
- 14 話す・聴くことの大切さを気付くことができたと思う。メール・ゲーム・パソコンなども大事だが人と人との会話を通して気づきの場の提供とワークを行なう。指導ではなくあくまでも一緒になって気づき。
- 15 自分自身の目標をもって他人に左右される事なく社会参加する  
自尊感情のめばえ
- 16 男女参画センターの講演会に出席してその知識が増えた
- 17 介護についての寸劇をし、弱者に暖かい支援をしようという話し合いが出来た。  
「おれおれ詐欺」についての寸劇をし、お互いが連絡を取り合って詐欺に合わないように、又、詐欺についての認識を深めることが出来た。
- 18 防災ノートを作ったりして、自分にも人の為にも出来る事を知った。
- 19 それぞれ会員自身の職場において、相手の気持ちを聴き理解しようとする姿勢がとれるようになった
- 20 研修会・学習会
- 21 セミナー・講演会（フォーラム）を開催することで、各成員がアクティブになり互いの存在価値を認め合うようになった
- 22 生活支援センター「高松市」の設置、スマートドライバーキャンペーンを開催、女性の資産保全研修会・講演会、研修会・講演会・ワークショップ他
- 24 男女共同参画フォーラム、男女共同参画交流会（県外対象）ネットワークの拡充、知事への提言・懇談会開催
- 25 「LGBTと職場」をテーマにした講演会
- 26 人との話し合いの出来る又ボランティア活動など進んで参加者が出来るようになった
- 27 映画上映会、絵本の読み聞かせ、町おこしをしている北海道の剣淵町を舞台にした「じんじん」、広瀬多加代のヒロシマ被ばく手記朗読とあわせた「はだしのゲン」上映会、フェスティバルへの参加、ワークショップとパネル展

問7 問5の活動をした結果、あなた自身はどう変わりましたか。特に当てはまるものを3つまで選んでください。



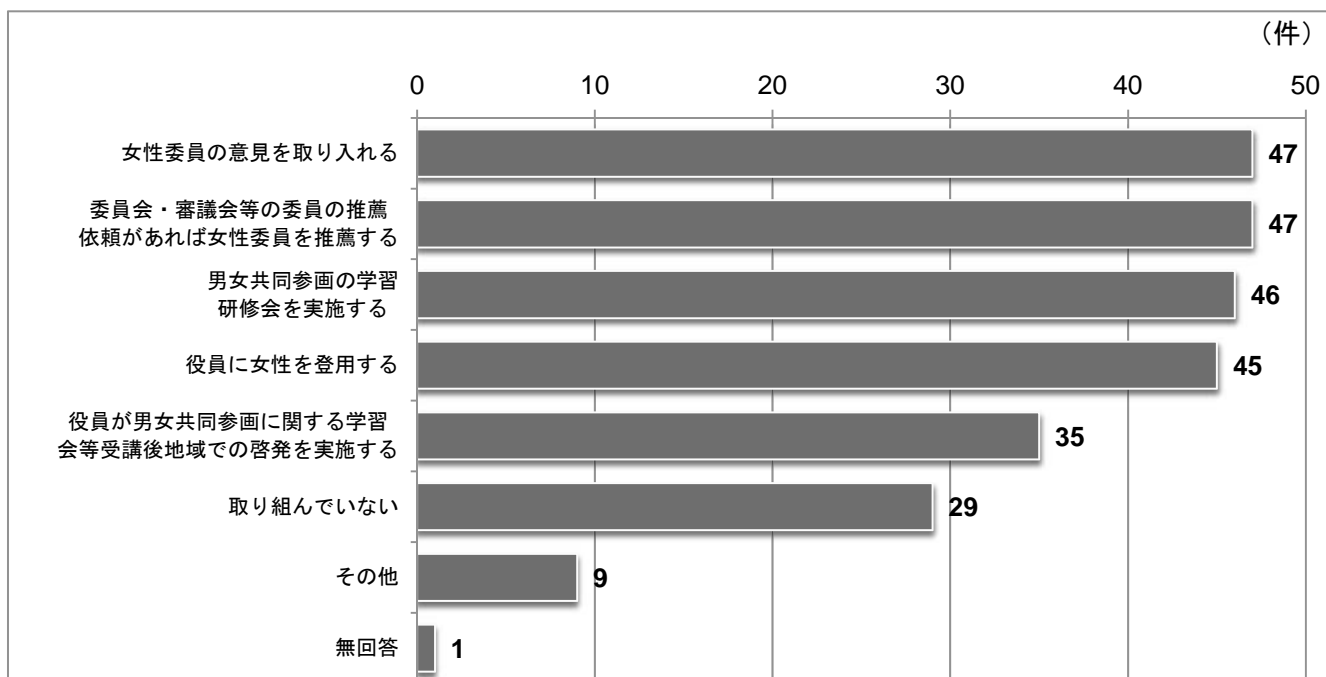
○その他

1 人として生きる喜びを実感している

【全体】

自分たちの活動や興味・関心が直接的に社会に役立っていることを実感した（68件）、横のつながりやネットワークが広がった（68件）という回答が最も多く、全体の45%を占めている。

問8 貴団体は男女共同参画社会づくりにどのように取り組んでいますか。特に当てはまるものを3つ選んでください。



○その他

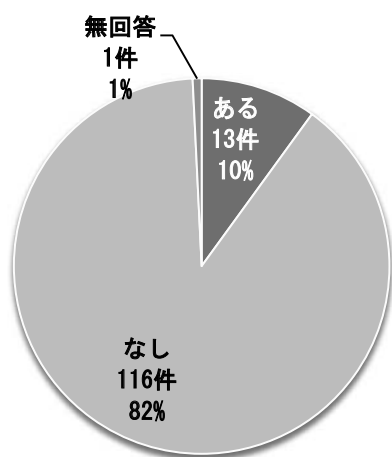
- 1 職員に女性の割合が高い。セクハラ防止のために職員間で話し合っている
- 2 友人の男性や団員の子供（男子）に車で公演先へ送迎してもらったり、小道具を動かしてもらう時もある。
- 3 男女の別なく意見を交換している
- 4 外国人（女性）市民の日本語レベルアップにより、多文化社会における女性（外国人・日本人も）社会参加機会をふやしていると思う。
- 5 市の男女共同参画フェスティバルに積極的に参加している

【全体】

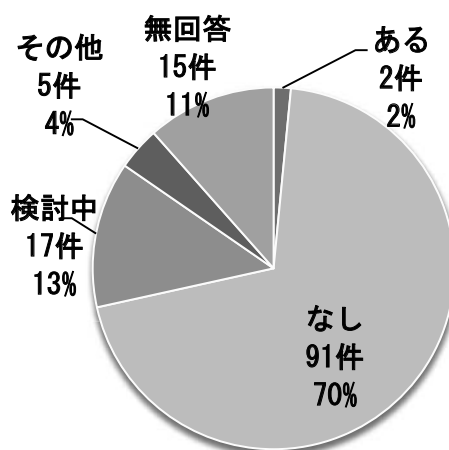
回答が多かった取組は、女性委員の意見を取り入れる（47件）と、委員会・審議会等の委員の推薦依頼があれば女性委員を推薦する（47件）であり、全体の36%を占めている。

一方、取り組んでいないという回答が29件、全体の11%を占めるので、今後も継続して男女共同参画社会づくりの取組を推進していく必要がある。

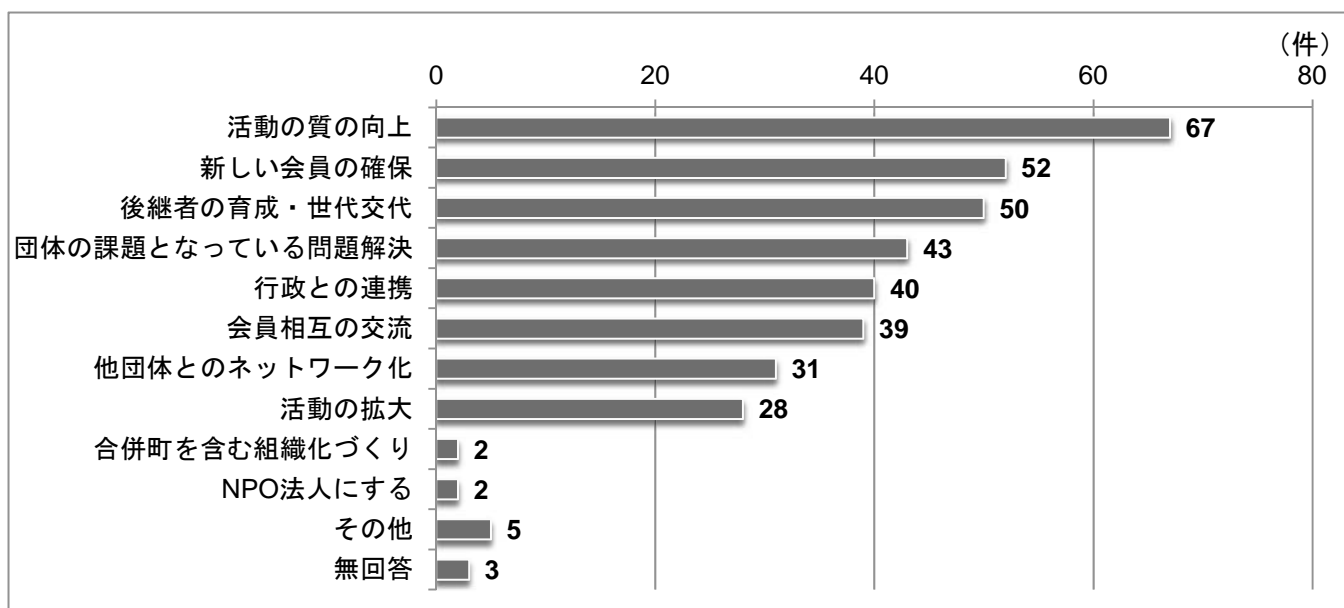
問8-2 貴団体に男女共同参画を推進する部会や担当部署などがありますか。当てはまるものを1つ選んでください。



問8-3 問8-2で「なし」の場合、部会をつくる予定はありますか。当てはまるものを1つ選んでください。



問9 貴団体のこれからの活動の重点目標は何ですか。主なものを3つまで選んでください。



○その他

- 1 地域の課題解決
- 2 会員の力量が上がる学習をする
- 3 会員の力量が上がる学習をする
- 4 会員自身の人間的成長

【全体】

活動の重点目標のうち、活動の質の向上（67件）と、新しい会員の確保（52件）、後継者の育成・世代交代（50件）という回答が多く、全体の46%を占めていることから、団体の活動をさらに充実させるとともに、団体の維持に取り組んでいることが伺える。

**問 10 男女共同参画に向けて、今後のキーワードとなるものは何だと思われますか？**

- 1 生活のゆとり、心のゆとり
- 2 意識改革
- 3 日本由来の常識を取り払い、意欲的に情熱をもって挑んでいく事
- 4 より良き社会人を目指して
- 5 個人の能力が最大限発揮できるような環境づくり
- 6 男女平等な社会、男性も女性も人間らしい生活ができる平和な社会を作ること
- 7 男性・女性ではなく適材適所で選ぶ事
- 8 全ての人に男女共同参画の認識の向上
- 9 男女共同参画ではなく人類は家族でありお互いを尊重して社会生活を送るのが重要と思われる
- 10 お互いを尊重し合う
- 11 見聞を広める（体験できる）機会を設けること
- 12 能力主義
- 13 制度の改正
- 14 女性がいろいろな環境の中で活躍する事
- 15 女性が社会復帰しやすい環境作り
- 16 男女平等、役割協同
- 17 男性の積極的な参加・意見が必要
- 18 他団体とのネットワーク化すること
- 19 すべての人が自分らしく社会に参画するためのサポート体制
- 20 女性の地位向上
- 21 思いやりと協力
- 22 男性の積極的参加と女性に対する理解が重要と思われる。
- 23 日本人は働きすぎ。17時には家に帰る。コンビニ、24hスーパーの廃止！
- 24 男性も育児ができるように17時には退社できる環境にすること。コンビニ・24hスーパー廃止！
- 25 組合の会合にすすんで出席してもらおう
- 26 平等・人権・平和
- 27 思いやり
- 28 保育所等の増設
- 29 意識改革
- 30 情報の共有
- 31 共助の社会づくり
- 32 男女同数の役員で運営・企画
- 33 形から始める事がキッカケに
- 34 各分野における女性の登用
- 35 互いに認め合い、助け合う事
- 36 男性・女性ということ関係なく、一人の人間として意見を取り入れていくこと
- 37 子供の頃からの学習と啓発が必要
- 38 お互いのことを思いやる気持ち
- 39 女性の構成員が78%であり普通に活動できているので特に何もしなくてよいと思っている
- 40 子育て・教育の場において男性（特に夫）の理解と育児参加への意識向上が必要

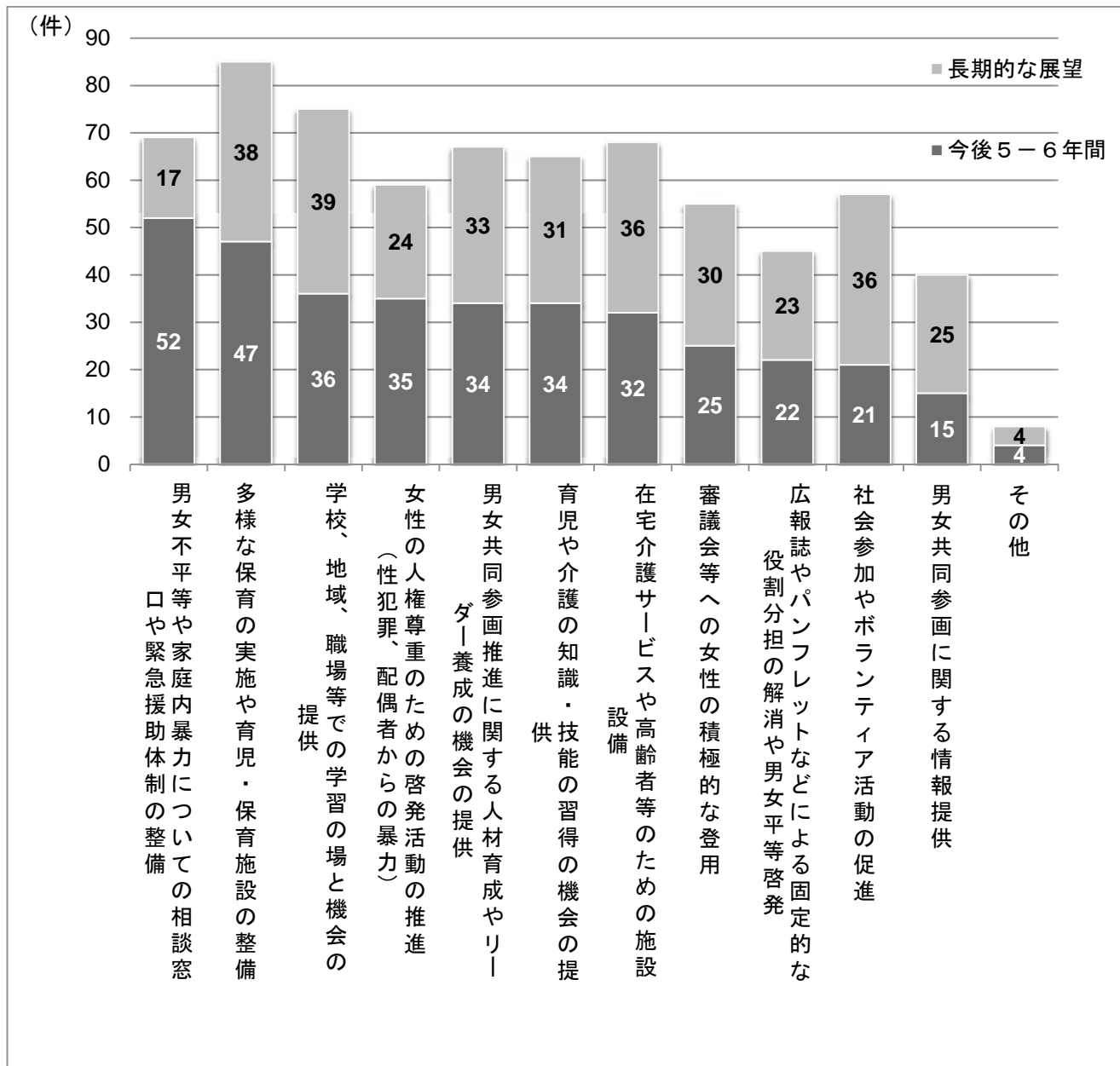
- 41 女性視点に関する意見を発表できる機会を十分に活用し、述べる。
- 42 中高年女性の意識改革
- 43 ボランティア活動に男性が少ない
- 44 あなたもわたしも◎ お互いを認め合って豊かな社会をつくること
- 45 男女が対等・平等で人権が尊重される事
- 46 自助・互助・扶助
- 47 女性の意識改革
- 48 子供の時から男女参画を
- 49 相互理解ではないでしょうか
- 50 自助・共助・公助のあり方
- 51 女性が活動しやすい環境づくり
- 52 地域の活動（自治会組織）へ積極的に参加すること
- 53 世代交代
- 54 教育
- 55 このままではいけない、今何かしなくては何もかわらない、まず一步
- 56 男性も消費生活に関心を持つ事
- 57 女性が子育て中も働き続けられやすい職場環境づくり
- 58 男女差別は論外ですが、区別は必要なのでは
- 59 ひとり一人のみなざる意欲
- 60 多様な生き方を認め合う
- 61 ワーク・ライフ・バランス
- 62 女性が自分の意見をしっかり伝えていくこと
- 63 お互いを人間として尊重すること
- 64 女性の消防団員増員の為の広報活動
- 65 家庭における子育てから男女共同参画社会を意識すること
- 66 ジェンダー意識の学習
- 67 心のバリアフリー
- 68 女性の経済的自立
- 69 男女同権
- 70 若者の登用・若者の意見を取り入れる
- 71 若い世代の参加
- 72 スポーツレクリエーション活動を通じて、健康で自分らしく豊かな人生を送ること
- 73 女性の経済的自立が最重要
- 74 行政と市民活動団体との協力
- 75 日常の活動の中で、常に女性の位置づけを主張する。
- 76 男が…女が…だけでなく、だれでも自分らしく生きることができる社会の実現
- 77 老若男女問わず、参加・活動しやすい社会
- 78 とともに意見を出し合い、会の目的に即した事業を協力して行う事
- 79 相互理解のためのコミュニケーションスキルアップ
- 80 男女がともに生き生きと働きやすく働き続けられる環境づくり
- 81 会員の育成

- 82 人の話を正確に聴くことをベースに活動しております
- 83 ボランティア団体であるので、誰でも参加でき、誰でも活動できるような企画・運営をしていくこと
- 84 活動をたくさんの人に周知すること
- 85 いろいろな団体ができているが、お互いに共存を認めていく必要がある
- 86 1人1人がそれぞれの生き方を認め合う心
- 87 各家庭での意識の高まり
- 88 無意識の意識化
- 89 男性の意識改革
- 90 人権意識
- 91 男と女がお互いを人間として尊重する事
- 92 会の役職の多くに女性になること
- 93 当団体は、男女共同参画であるべき団体ですが、結成時 40 年前の女性・男性の意識に相異が、男性参加になっています。生活スタイルの変化、役割の変化を共に男性も領域を広く活動に参加すべきと考えます。
- 94 雇用機会均等法
- 95 意識の変化

〔ここからの質問は、調査票に回答している、あなた自身にお伺いします。〕

問 11 今後、だれもがいきいきと自分らしく生きることのできる社会づくりを進めるため、高松市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

「・今後5～6年間に取り組むべき施策」及び「・長期的な展望のもとに取り組むべき施策」の2つの観点から、それぞれ3つまで選んでください。また、具体的な取組方策について、次の枠の中に**ご意見があればお書き**ください。



【全体】

短期的に取り組むべき施策のうち、男女不平等や家庭内暴力についての相談窓口や緊急援助体制の整備（52件）と多様な保育の実施や育児・保育施設の整備（47件）への回答が多く、全体の28%を占めており、DV等の暴力対策や子育て支援に関する取組が求められている。

長期的に取り組むべき施策のうち、学校、地域、職場等での学習の場と機会の提供（39件）と多様な保育の実施や育児・保育施設の整備（38件）への回答が最も多く、全体の23%を占めており、子どもから大人までの幅広い学習や子育て支援への取組が求められている。

総合的に比較すると、多様な保育の実施や育児・保育施設の整備（85件）が最も多いので、高松市の施策として重点的に取り組む必要がある。



・ 今後5～6年間に取り組むべき施策 具体的な取扱方法について、ご意見があればお書きください。

- 1 様々なライフスタイルに見合った学習の機会や情報提供（SNSの活用・動画配信等） 子供の時から、地域の中に居場所を感じられる環境づくり
- 2 DV対策において、被害者だけでなく加害者支援プログラムなどを用いた取り組みが必要である。
- 3 男女共同参画推進の広報及び啓発活動の推進
- 4 施策は前向きなものがよい。取締強化的なもの、対処的なものはなじまない。
- 5 教育の場での多様性の認容（排除の論理ではなく）
- 6 ・資格取得会場（育児や介護）をもっと身近に（コミセンなど）設置  
・主婦でも社会復帰できるように短期セミナー（託児付）を行って欲しい。
- 7 人材育成・リーダー養成を取り組まなければ今後、適材適所のリーダーが生まれてこない。
- 8 少子化対策として待機児童解消施策の充実が大事だと思います。
- 9 管理職に「フェミニストの女性」を入れる、女性が育児をしながら働ける職場にする。男と同じ考えの女性がトップになっても何も変わらない！
- 10 学校・地域など、又職場での学習の場での視点が盛り込まれている気がします。又家庭における視点はかなり遅れている様です。
- 11 自治条例の制定により「自然・公助・共助」の3つの言葉を揚げたが、市民の「共助」に対する考え方があまり理解されていない。共に助け合うことの大切さを広めていきたい。
- 12 ボランティア活動の促進のために現在の高松市男女共同参画センターに代わるNPO会館を整備していただきたい。廃校になった学校を活用するなど具体的に検討する必要がある。行政と民間をつなぐ活動を行っているが経済的基盤が薄く、独自の建物を持つのは困難である。同じ意見を持つ団体も多い。ぜひ、ご理解と協力をお願いしたい。
- 13 さまざまな問題が起こった時、生活の問題も含めて相談できる期間が必要だと思います。行政だと少し固いし、相談しにくいので実行力のある幅広いスタッフを揃えたNPO等があれば…と思います。
- 14 ・地域における若手の人材育成やリーダー養成が必要。どの分野もリーダーが高齢化している。  
・団塊世代の社会参加やボランティア活動の学習の場が必要
- 15 安心して子育てできる保育施設の整備により少しでも少子化が防げるし、結婚願望も増える。
- 16 人権尊重の為の学習面（理解と現状）、家庭教育での再確認（環境などにより家庭教育能力が乏しい今頃に○・×ではなく、グレーで考えられる人材を養成していくべきだと思う。）指導でなく、気づかせてあげる場が欲しい現状です。
- 17 「誰もがいきいき自分らしく」の権利ばかりが一人歩きしているように思う。人生の中で、どうしても子育てや介護に時間をさかれる時だってある。勿論それも「いきいきと自分らしく」実施することを目指せばいいのかもしれないが、あまりにも子育てや介護が「強いられるもの」「自分が犠牲になる」だから対策をとる構図が強すぎると思う。時間全てを自分の為に利用するのではなく、自分をこころす時間を持つ義務だってあってもいいと思う。
- 18 産休・育休後は待機なしで保育所へ入所可能とする事（時間外保育の対応も）
- 19 専門的な学習をしてファシリテーターを養成する。一般的な講演・講座からは人材は育たないと思う。
- 20 男女平等の推進計画として3つの目標を掲げて今後の取組みを行うこととする。 1.働きがいのある人間らしい仕事（ディーデントワーク）の実現と女性の活躍の促進 2.仕事と生活の調和 3.多様な仲間の結集と労働運動の活性化、育児・介護等の負担軽減などまず、行政が投資し、人材育成

に努めて欲しいと思います。

- 21 私達は男女共同参画を「寸劇」を通じてわかりやすく皆さんに観ていただいています。観た方は「よくわかった」と共感していただきます。このように多くの方にわかりやすく、納得してもらえる活動も今後大切かと思われまます。
- 22 多様な保育の実施の実現にむけて、新たに施設を建設するのではなく、人口減少子化時代にむけては、空き教室を利用したり、高齢者施設の中に保育施設を組み入れるなど工夫が必要。又、認可外の保育施設に対して育児補助券を発行するなど、利用者の便宜を図る直接的な支援が必要と思う。
- 23 高松市男女共同参画センターの登録団体は同センターの会議室を活動のために無料または安価に利用できていましたが、子ども未来館の中に再整備後はそうした利用ができなくなるというのは大変残念です。活動拠点を市が提供して下さることで、様々な男女共同参画社会への取り組みが市民の手で進められます。ぜひご再考をお願いします。
- 24 市民の声を直接具体的に受け入れる場の設定
- 25 行政としては、何をすべきかに優先順位をつけるより、できれば状況にあるものをとにかくやってみることが重要であると思う
- 26 まず、市役所という組織を男女共同参画の視点で見直すことが必要である。（採用・組織・人材育成・事業等）
- 27 各種審議会・委員会の女性の積極的登用、神戸・福島の事例を見ても、避難所の女性・子供・障害者・老人への配慮がない。防災計画の審議会に女性や障害者・老人の視点を入れること。避難所も、男性の視点で物事を運ばれた反省をすべきです。市も独自のDVシェルターを作る予定はないですか？
- 28 「ジェンダーについて」を学びながら、各自がどう社会参加すればよいのか自己検討能力を高めていく作業を試みる必要がある。
- 29 1. 女性の就労環境を整備する。（女性の経済的自就労立の推進） 2. 老人ホームにおける多床室の建設推進（国の方針は中流層対象） 3. 多様な問題の相談窓口の拡張及び整備が急がれる。
- 30 常に市政に女性がかかわれる様、様々な登用の機会を増やして欲しいものです。
- 31 、65歳までに現役を退いた人々の中に、働きたくても働けないとか何か地域のためにしたいと思ってもできないで体をもてあましていいる者がかなりいるように思うので、男女を含めてこうした人々に対する対応を行政でも…と思います。
- 32 災害対策の取組み
- 33 育児中の父親・母親たちが（幼い子を母親だけでなく中高生・大人（引きこもりの人たち）の親）集まり、安心して話せる場などを提供できると良い。そのためには、リーダーの育成・ファシリテーターの育成が望まれる。
- 34 社会的弱者と言われる方々への援助の手をさしのべないと、「だれもがいきいきと自分らしく生きる」ことができる社会は実現しない。（高齢者世帯・母子家庭…などへの愛ある訪問事業とか）
- 35 「能力のある男性、ない男性がいるように、女性も同じで能力のある女性、ない女性がいる」と能力に男女関係ないという意識啓発のため、それぞれ会社ごとの研修でセミナーを実施する。
- 36 予算を高齢者ではなく、若者や子育て世代にまわす。子育て世代のサポート、若い人の就業支援
- 37 難しく判らない
- 38 大人はもちろんだが、子どもの時からの意識づけが最も大切である。学校教育に積極的に取り入れてほしい。男性への教育も重要！
- 39 子育て支援の充実、地域・学校・事業所、家庭と仕事の両立（仕事が優先ではいけない）

- 長期的な展望のもとに取り組むべき施策・具体的な取扱方策について、ご意見があればお書きください。
- 1 高齢者と子供が交流し、日常生活を共有できる施設の整備（学校や民間商業施設との連携）、社会福祉士や保育士など、専門的な知識を有する人材の確保及び適正配置
- 2 高松市の特性を活かした先駆的モデル事業の実施
- 3 女性が働くための保育施設の整備
- 4 超高齢化社会に向け、全国の範となる思い切った施策を期待する。特に高齢者の「生きがい」の創造が必要と思われる。
- 5 各種法整備（民法・税法等世帯単位から個人単位へ）
- 6 リーダー養成については、企業のトップが育休を取ったり見本を見せ、もっと職員（男性）も育休が取りやすいように促すセミナーを提供
- 7 行政が音頭をとり、養成講座をしっかりとやってほしい（特に若い人を対象にする）
- 8 子供の教育にお金をかけること。教育の質の向上。教員の子供が教員になることが多いので世間知らずで視野が狭い。
- 9 子供の教育にお金をかけること。教育の質の向上。教員の子供が教員になることが多いので世間が狭い。
- 10 高齢者のための施設整備は特に急がれます。施設は高額な費用が必要となり施設は収容可能な人も制限されます。誰でも利用できる法的な施設、しかも年金で入所可能をめざすべきものと考えます。
- 11 昨年、市長とのまちかどトークに参加させていただきました。あのような対話ができる時間は、行政との連携を拓げていくために貴重であったと思います。市長との直接対話は何度も機会をつくるのは難しいかもしれませんが、各担当課との連絡を密にできるような体制作りが望ましいと思います。その対話の中から具体的な課題とか施策がみえてくると思います。
- 12 一番難しいのは意識改革なので、ずっとひとつひとつ出来ることから実践したいものです。行政に出来ること、家庭で出来ること、組織で出来ること…その積み上げが花を咲かせるし、長い取り組みが必要です。
- 13 学校・地域・職場での学習の場を増すこと。
- 14 安心して子育てが出来る社会を構築すれば女性の社会参加は増える。
- 15 男性も育休や介護休暇が普通に取れる社会づくり（職場での男女共同参画学習が必要）
- 16 大学の先生より、より良い環境で活動している人たちの声をすいあげて改善策を考えるべきと思う。あまりアンケート中心で行なうのは危険がともなうので、参加型研修会を行い、理解や考えられる人材を養成してほしい。（DV・虐待・犯罪被害者など）
- 17 それぞれの「役目」「役割」があるのは当然。それが「男性だからこの役目 女性だから…」ではなく個々の適性で判断できることが理想なのかもしれないが、みんながその適性だけを重視してしまふと取り残されてしまうことがあると思う。権利だけでなく義務も伝える活動が必要だと感じる。
- 18 産休・育休後の待機なしでの入所（時間外保育の対応も）
- 19 神戸方式で1年次、2年次、3年次をひとつのテーマで学び、終了後は地域社会へ派遣することをかかってやっていたと思うので、長い計画でじっくり育てないとなつなっていくかと思う。
- 20 中長期的には、地域と産学官金労医の連携を指向し、周辺自治体も含めて老若男女が「安心して働き続けられる地域社会」を形成してほしいと思います。
- 21 子供の数を増やす為に、母親が働きやすい様に公共の保育施設を増やすべきと思います。
- 22 (1) のための人材育成

- 23 若い夫婦や小学生くらいにターゲットをしばって男女共同参画意識を注入すること。年配者への働きかけはほとんど無駄、罰則規定でも設けて取り締まることしかないと思う。
- 24 目標を現在の課題から設定すること
- 25 介護を女性まかせにしないで下さい。又、在宅が男性一人で介護している場合は閉じこもり。高齢者への虐待へとつながる危険性もあり、介護している男性を支えるシステムづくり。相談者・民生委員・福祉委員の有効な活用を。
- 26 1. 女性の経済的自立の推進（女性の就労環境を整備する） ①保育所、介護施設の充実（保育士・看護師・栄養士が大幅に不足） ②ジョブセンターの充実 ・面接時にスーツ、靴の貸与 ・採用決定後、保育所入所まで無料育児施設の設置 ・就業講座の充実 ③パートナー（男性）への意識改革推進 2. 老人ホームにおける多床室の建設推進（国の方針は中流層対象） ①女性は、現在会社・子供・家事だけでも激務なのに在宅介護は不可能。（男性は3Kがキツイというが女性は4Kの状況） ②無年金低所得老人層が増加するため利用不可能 3. 多様な問題の相談窓口の拡張及び支援設備の充実・駆け込み施設他
- 27 香川県女性リーダーズネットワークの意見を参照
- 28 女性が就業を続けられるようなサポート（保育・介護等）は、常に努力をしていただきたいものです。
- 29 ますます進むといわれる少子化高齢化社会を見越してより多くに若者が定住できる環境づくりのための高松市に適した産業の見直しと育成に努めることが大切だと思います。
- 30 男女共同参画に対しての人材育成に伴い研修会などの推進、知識を高め男女がお互いに参加できる活動の居場所作り
- 31 高齢者の人口の増加が著しい。介護の知識など学習の場がほしい。職場や学校で学ぶ機会がほしい。介護をする人のグチを言える場も。
- 32 1人1人が気づいていけるように情報紙を作って広報紙として配布する。
- 33 女性が働きやすいよう、保育所の充実、ただ数が足りたらいいのではなく家の近くで行けるなど配慮が必要
- 34 今の高齢者は異常に守られている世代であることをちゃんと知らせる。
- 35 子どもへの意識づけや子育て中の保護者に対する教育

## 自由意見

- 1 若い世代に家庭教育の大切さを周知する（特に食育・しつけ等々）
- 2 まだまだ男性優位の社会なので少子化は仕方がない。生みも育てもしない男性にはわからないことが多いので、もっと女性が意見を出し女性のために政策していくべき。産むと損をするのが、今の日本社会の現実だと思う。後 100 年はかかりそうです。
- 3 男女労働者は正規と非正規とは賃金格差・労働環境も格差があります。男女共同参画社会はこれらにも格差更正をめざし施策をとらなければならないと思っています。特に非正規労働者という雇用形態は参画社会においては大きい損失だと思います。時給 1000 円は参画社会への大きなステップとなると思います。
- 4 軽視されがちな再生産労働（いわゆる家事・育児・介護等）はとても大切な労働であります。生産労働とともに再生産労働もきちんとしていくことを意識して生活する社会を期待します。生産労働、再生産労働ともお互いに思いやりの精神が必要です。そのような社会を期待します。リタイアした人たちと子供たちが触れ合える場（将棋・手芸・料理等）が各地で増えることを期待します。
- 5 市職員の管理職の女性の割合が増えていないとききました。その要因を分析・改善し女性の割合を増やすことが必要だと思います。
- 6 女性の登用は大切なことだと考えるが、女性であることだけでは進歩がない。以前に比べると男女の関係のあり方は、ずい分変化してきたと思われる。多様な生き方の中で相手を認め、お互いに心地よい暮らし方が出来ればと思っている。
- 7 子育て中の世代の方々の意見が取り入れられる審議会の運営を望みます。
- 8 定年後の男女に時間的余裕のある者が社会参加し、若い者の助けになる為に努力すべき。明るく、明日の町づくりに協力できる者を募る。やはり、道徳の授業から。
- 9 子供を育てている期間も安心して働ける環境を早急に創る。男性が子育てに参加するシステムを創る。保育園の充実。結婚すること、出産することに抵抗感をなくする。
- 10 試みようとしていることは人々の意識を変えようとするものであり、一時期何かをすれば変わるものではない。長い時間をかけて様々な機会に発信し続けることで人々の意識に摺り込んでいく事が重要であろうと思う。
- 11 市民一人一人の意識づけがポイント。そのために、子育て・学校教育・人材育成等一つの目標をライフステージにわたって取り組むことが必要。必ず成果をみて次世代にいかすこと。（男女共同参画だけでなく、すべての事業で必要、市民の税金の有効活用をお願いしたい）
- 12 共に信頼し支え合い、かかわり合うことが大切となる、生涯教育を徹底するように試みて下さい。
- 13 現在、男女共同参画について、関心のある人が固定化し高齢者に集中している。講演会やセミナーの参加者も固定化している。若い人に参加してほしいがその方策が見出せないでいる。非正規雇用者が急激に増加しこれらの人たちが社会の表から、やや、置き去りにされつつあるような現実がある。真に能力のある女性が、社会活動をしているロールモデルをマスコミがとりあげ、子ども時代からそういう女性が男女で支えあって生きている姿を大切に扱ってほしい。雇用・社会保障、貧困、格差等に関する行政の取り組み状況がマスコミの課題として真摯に取り組んでほしい。男女共同参画に対する取り組みは一朝一夕にいかないのは当然のことながら、国をはじめ行政も民間も私どもと中だるみで後退状況にある。
- 14 女性の活用を幅広く。これからは、シルバーがもっと活躍すべきです。身体的にも、精神的に

も健康なシルバーを男女共同参画社会づくりに、福祉に活用し、シルバー自身の生きがい対策にもなる。特に男性はすることもない人が多いのでは？

- 15 男女共同参画については、自分自身の経験から能力のある女性が社会参加することは大賛成です。また、一方、社会参加しなくてもそれはそれでOKです。仕事と家庭の両立は私にとっては非常に苦しいものでした。特に子育ては祖母とか周囲のバックアップなしではできなかつたと思います。特に子供の教育は時間が取れない分、お金でまかなったという感じです。塾とか習い事など、夏休みの間、子どもたちを放って置くことになり、昼ごはんや夏休みの宿題に悩みました。特に夏休みの対策をどうにかしていただきたいと思います。安心して母親が働けるように。男女共同参画は社会においても家庭においても共同参画ができるよう男性の働き方（特に企業に働く男性）を、見直すことが必要と思われます。時短に積極的な企業風土を社会に広げていく事が大切と思います。
- 16 女性議員を増やしたり、役職につけたり、男性を同じにすることが、共同参画ではないと思う。男性と同じ待遇を望む人には、対応し、一方女性にしかできない本分、（出産、家庭運営等）を安心してできる暮らしが、人間として安定した社会づくりだと思う。男女の立場が違うからと言って発言力が弱いわけではない。